



スタートアップに対する経営管理・事業化支援人材の
伴走支援モデルに係る調査事業

公募説明会

- 本説明会は事務局にて録画をさせていただきますので、ご了承ください。
- 説明中はマイクをミュートにしてください(カメラは設定でオンにできないようにしております)。
- 音声が聞こえない等支障がありましたらチャットでご連絡をお願いします。
- 質問がある場合はTeamsの挙手ボタンを押してください。事務局で指名いたしますので、指名を受けた方はミュート解除して質問をお願いします。
- 所属組織名は述べていただかなくて結構です。質疑応答後、マイクをミュート、挙手ボタンを解除してください。
- 質問の内容は本公募に関する事柄に限定させていただきます。

目 次

1. 本調査内容について
2. 提案書の提出について
3. スケジュールについて
4. 質疑応答

1. 本調査の目的

背景・課題感

NEDOは、民間投資等による資金調達の呼び水となる形で研究開発資金を支援し、研究開発型スタートアップの技術開発や事業化を加速させている。一方で、支援を通じて調達、支援の資金規模が拡大する中、事業者側の経営管理体制の構築が追いついていない懸念がある。

調査の目的

スタートアップの抱える経営課題等を明らかにし、外部有識者による伴走支援を試行的に実施する。また、試行結果を踏まえ、NEDOが今後実施すべき伴走支援の在り方をモデル化する。

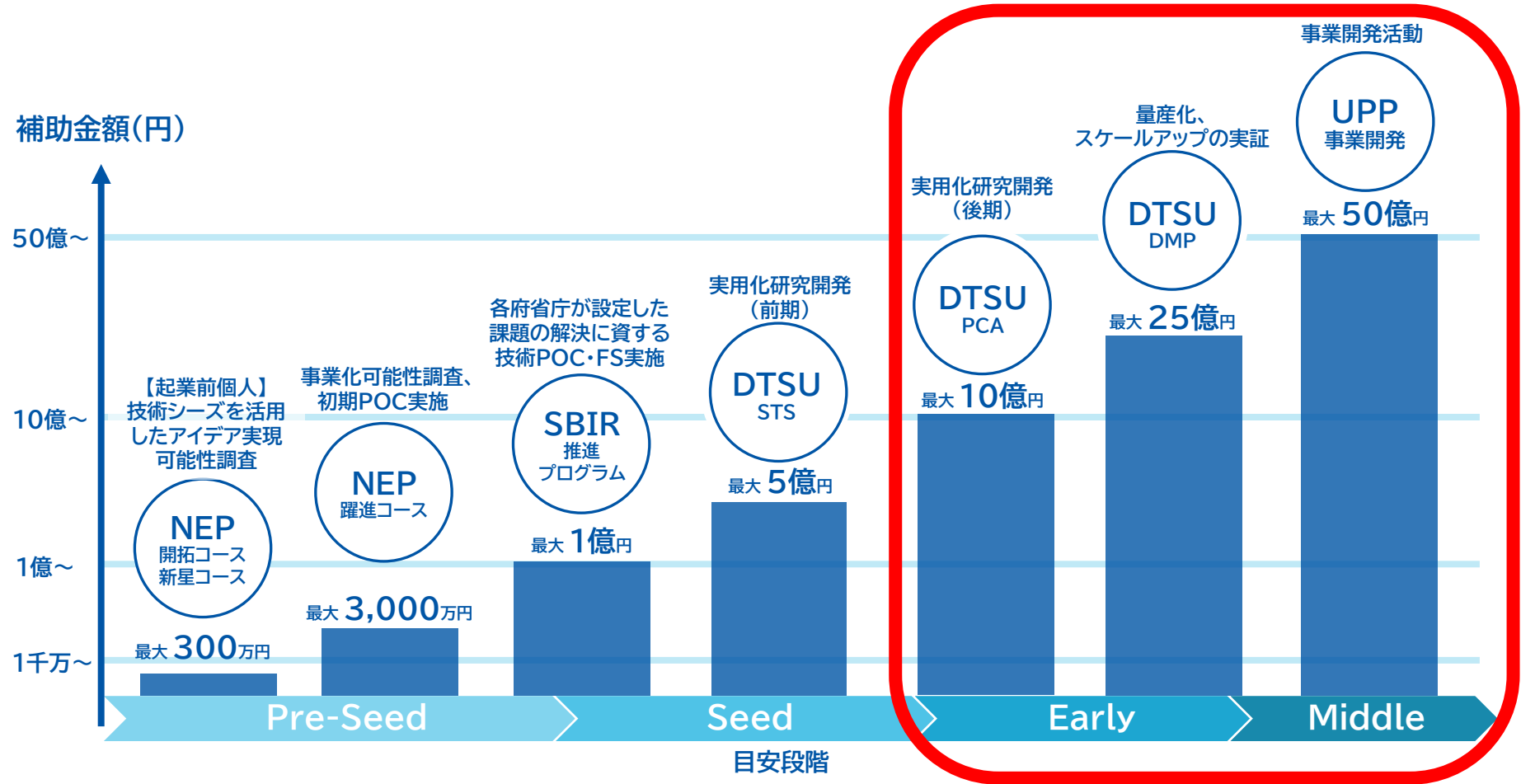
調査の流れ

- (1) スタートアップにおける経営管理課題の抽出・伴走支援ニーズの調査
- (2) カタライザーによる伴走支援の試行的実施
- (3) スタートアップの課題及び伴走支援効果の分析
- (4) 調査・試行結果を踏まえた伴走支援モデルの整理・提案

1. 調査対象

対象事業フェーズ：支援先のレイターよりの事業
 対象事業者の件数：60件程度(終了事業者含む)

EXIT
 (IPO, M&A)



1. 調査対象

ディープテック・スタートアップ支援事業 / DTSU

GX分野のディープテック・スタートアップに対する実用化研究開発・量産化実証支援事業 / GX

GX分野も含め、“技術の事業化までに長期間を要するディープテック・スタートアップ”の実用化研究開発・量産化実証を支援します。

詳細ページ



フェーズ	補助金額	対象者	事業期間
 STSフェーズ Seed-stage Technology-based Startups 実用化研究開発(前期)	3億円 or 5億円以内※ 補助率 2/3以内	要素技術の研究開発や試作品の開発等に加え、事業化に向けた技術開発の方向性を決めるための事業化可能性調査等を行うスタートアップ	1.5～2年程度 (次の資金調達までの期間が目安) ただし、同一フェーズ内で最長4年
 PCAフェーズ Product Commercialization Alliance 実用化研究開発(後期)	5億円 or 10億円以内※ 補助率 2/3以内	試作品の開発や初期の生産技術開発等に加え、主要市場獲得に向けた事業化可能性調査等を行うスタートアップ	
 DMPフェーズ Demonstration development for Mass Production 量産化実証	DTSU事業： 25億円以内 補助率 原則1/2以内(例外有) GX事業： 25億円以内 補助率 2/3以内	量産技術の確立・実証に係る研究開発やそのために必要な生産設備・検査設備等の設計・製作・購入・導入・運用等を通じ、商用化に至るために必要な量産化実証等を行うスタートアップ	

1. 調査対象

ディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 / UPP事業 (Unicorn Promotion Program)

GX分野のディープテック・スタートアップへの事業開発支援事業 / GX_UPP事業

一定の研究開発を終えたスタートアップに対して、
商用の設備投資やソフトウェア投資等事業開発活動を支援します。

詳細ページ



技術シーズの開発研究

初期構想の発想・検討

試作品の開発

商用化の実現

市場開拓

事業	補助金額	対象領域	事業期間
 UPP事業	30億円以内 補助率 原則1/3以内、例外1/2以内	公募ごとに領域を設定 ※ 過去の領域の事例 ○医療機器・ヘルスケア ○スマート農業・バイオマス ○AIロボット	3年以内
 GX_UPP事業	50億円以内 補助率 1/2以内	公募ごとに領域を設定 ※ 過去の領域の事例 ○蓄電池 ○資源循環 ○自動化技術	4年以内

1. 調査対象

第8回までの採択/応募状況と採択金額

	STSフェーズ	PCAフェーズ	DMPフェーズ	合 計
第 1 回	9/46社 (5.1倍)	7/50社 (7.1倍)	7/18社 (2.6倍)	23/114社 (4.9倍)
第 2 回	9/28社 (3.1倍)	6/35社 (5.8倍)	2/6社 (3.0倍)	17/69社 (4.1倍)
第 3 回	8/30社 (3.7倍)	6/32社 (5.3倍)	1/7社 (7.0倍)	15/69社 (4.6倍)
第 4 回	7/35社 (5.0倍)	3/21社 (7.0倍)	2/5社 (2.5倍)	12/61社 (5.0倍)
第 5 回	3/19社 (6.3倍)	4/21社 (5.2倍)	0/3社 (- 倍)	7/43社 (6.1倍)
第 6 回	5/30社 (6.0倍)	4/21社 (5.2倍)	1/3社 (3.0倍)	10/54社 (5.4倍)
第 7 回	6/32社 (5.3倍)	7/31社 (4.4倍)	1/6社 (6.0倍)	14/69社 (4.9倍)
第 8 回	8/44社 (5.5倍)	5/33社 (6.6倍)	0/8社 (- 倍)	13/85社 (6.5倍)
合 計	55/264社 (4.8倍)	42/244社 (5.8倍)	14/56社 (4.0倍)	111/564社 (5.0倍) 629.8億円

第5回までの採択/応募状況と採択金額

	STSフェーズ	PCAフェーズ	DMPフェーズ	合 計
第 1 回	4/17社 (4.3倍)	1/4社 (4.0倍)	0/3社 (- 倍)	5/24社 (4.8倍)
第 2 回	2/7社 (3.5倍)	2/4社 (2.0倍)	0/1社 (- 倍)	4/12社 (3.0倍)
第 3 回	1/12社 (12.0倍)	0/1社 (- 倍)	0/2社 (- 倍)	1/15社 (15.0倍)
第 4 回	2/7社 (3.5倍)	1/3社 (3.0倍)	1/3社 (3.0倍)	4/13社 (3.2倍)
第 5 回	2/12社 (6.0倍)	0/2社 (- 倍)	0/1社 (- 倍)	2/15社 (7.5倍)
合 計	11/55社 (5.0倍)	4/14社 (3.5倍)	1/10社 (10.0倍)	16/79社 (4.9倍) 89.0億円

	応募件数	採択件数
UPP事業 医療機器・ヘルスケア領域	4件	3件
UPP事業 スマート農業・バイオマス領域	0件	0件
GX_UPP事業 蓄電池領域	1件	1件
	応募件数	採択件数
UPP事業 AIロボット領域	2件	1件
GX_UPP事業 資源循環領域	1件	1件
GX_UPP事業 自動化技術領域	1件	0件

ここにDTSU/GXの第9回/第6回
並びにUPP/GX_UPPの第3回
が加わる可能性があります。

1. 仕様書について

以降のページに於いて、青字記載部分はNEDOからの補足となります。

(1) スタートアップにおける経営管理課題の抽出・伴走支援ニーズの調査

スタートアップ特有の伴走支援ニーズを把握するため、本項では基本情報の整理及びヒアリングによる経営課題の把握を行う。対象は、NEDO事業実施中の事業者（DTSU、UPP事業）のうち、調査対象とする事業者をNEDOと協議のうえ抽出する。

① 経営課題の抽出

財務・資金調達、経営管理、会計・税務・経費管理、内部管理体制、事業化・成長戦略等

② 伴走支援ニーズの調査

CXO採用、内部管理体制、資本政策、管理会計、法務、規程整備、出口戦略等の相談ニーズ

③ 課題の解決状況及び未解決課題の把握

スタートアップがこれまでに直面した課題について、解決に至った課題、現在も継続している課題及び解決が困難な課題の抽出

- ・ 対象の事業者数は先述の通りとなります。
- ・ 事業者への調査については、NEDOと支援先の関係上、事業の進捗や、経営上の課題など、率直に示すことが難しい場合が想定されるため、事前に内容のすり合わせを実施します。
- ・ ヒアリングを実施する場合は、NEDOも同席させていただく場合があります。

1. 仕様書について

(2) カタライザーによる伴走支援の試行的実施

前項を踏まえ調査した事業者の中から、伴走支援による効果が見込まれる事業者をNEDOと協議のうえを選定し、カタライザー派遣による伴走支援を行うこととする。伴走支援にあたっては、経営課題やニーズを踏まえ実施することとし、必要に応じて（１）の実施段階からカタライザーの同席も考慮すること。

① スタートアップ及びカタライザーの選定

伴走支援による効果が見込まれるスタートアップ、支援実施数をNEDOと協議のうえ決定する。また、カタライザーの候補者を選定し、候補者リストを作成し提案すること。リストの作成において、必要に応じてカタライザー本人へのヒアリングも行うこと。

本調査内において新たに委嘱することも検討し、カタライザーによる伴走支援の試行的実施に当たっては、支援先のスタートアップごとに支援計画を作成し、支援内容、支援期間、支援頻度、カタライザーの役割、成果目標、情報管理方法等を明確化すること。また、支援実施中は、支援内容、助言事項、進捗、課題、次回対応事項等を記録し、必要に応じてNEDOに報告すること。

② 謝金の支払い等

カタライザーから提出された実施報告書等をNEDOが確認した後、カタライザーへ定額支払いを実施する。（謝金額については技術経営アドバイザーを活用した技術経営力の強化等に関する助言業務実施規程（平成21年度規程第10号）を準用して支払うこと）

- 伴走支援の実施社数については、十数社程度を想定しています。
- 自社内の人材をカタライザーとして派遣することも可能です。
- カタライザーの謝金・旅費は調査委託の費用に含まれることとします。
- 謝金額は1件7万円と基準とします。
（技術経営アドバイザーを活用した技術経営力の強化等に関する助言業務実施規程による）
- 旅費の支給については、旅費規程（平成15年度規程第24号）による

1. 仕様書について

(3) スタートアップの課題及び伴走支援効果の分析

(1)、(2)の結果を踏まえ、スタートアップの抱える経営上の課題を明らかにするとともに、スタートアップの成長段階や経営課題に応じて、カタライザーがどのような支援を行うことが効果的かを分析する。

- ① スタートアップが支援を必要としている経営的な課題
- ② カタライザーによる伴走支援の効果及び改善可能な項目
- ③ カタライザーに求められる専門性、関与形態、支援期間、支援頻度等の整理
- ④ 伴走支援のマッチングの結果を整理し、効率的な伴走支援を行うために必要な要素を検討

(4) 調査・試行結果を踏まえた伴走支援モデルの整理・提案

(1)～(3)を踏まえ、スタートアップとカタライザーの効果的なマッチング方法、支援内容、関与形態等を伴走支援モデルとして整理する。また、本調査の結果として明らかになった伴走支援効果や、伴走支援ニーズをもとに、出口を見据えた伴走支援モデルを設計するとともに、今後NEDOが実施すべき伴走支援の在り方についての提言を行う。

- NEDOの支援先が増えていく中で、支援先の更なる成長を図るため、NEDOが将来的に活用可能な実践的な伴走支援モデルとして提案することを期待しています。

2. 提案書の提出について

公募要領に従って提案書を作成し、その他提出書類とともに以下の提出期限までに電子申請システム「Jグランツ」上で応募申請してください。

持参、郵送、FAX又はE-mailによる提出は原則受け付けておりません。

【提出期限】

2026年7月30日(木)正午まで

応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトの公募ページ上でお知らせいたします。

【提出先】

Jグランツの本公募に係るページから申請ください。

<https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDc0JMAT?wfid=a0XJ20000078dj3MAA>

【提出方法】

「Jグランツ」上で、必要項目を入力し提出書類をアップロードした上で申請してください。
万が一、応募者の責に依らない理由により、提出期限までにJグランツ上の申請が困難な場合には、提出期限前までに必ず NEDO 担当者までご連絡ください。

3. スケジュールについて

【スケジュール】

2026 年7月30日:公募締切

2026 年8月中旬(予定):採択審査委員会(外部有識者による審査)

2026 年8月下旬(予定):契約・交付審査委員会

2026 年9月上旬(予定):採択先決定

2026 年9月中旬(予定):ウェブサイト公表

2026 年10 月中旬(予定):契約締結

【問い合わせ先】

本公募の内容に関する質問等は本説明会で受け付けます。

それ以降のお問い合わせは以下の問い合わせ先のE-mailで受け付けます。

ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

スタートアップ支援部 伴走支援調査事務局

E-mail:startup-desk [*] nedo.go.jp

E-mailは上記アドレスの[*]を@に変えて使用してください。

4. 質疑応答

質問ございましたら、Teamsの挙手機能でお知らせください。

- 事務局で指名いたしますので、指名を受けた方はミュート解除して質問をお願いします。
- 所属組織名は述べていただかなくて結構です。質疑応答後、マイクをミュート、挙手ボタンを解除してください。
- 質問の内容は本公募に関する事柄に限定させていただきます。



ニュースリリースや公募、イベント情報等、様々な最新情報を発信しています。
ぜひフォロー・ご登録をお願いします！



NEDO
(@nedo_info)



NEDO【英語版】
(@nedo_info_en)



NEDO



スタートアップクラブ



NEDO Channel



NEDO PR Channel



公募に関する質疑応答一覧

NO.	質問	回答
1	カタライザー謝金の支払いについて時間や業務量など何をもって1回とするか。	助言1回当たり70,000円を基準とし、その業務内容、業務負荷等を総合的に勘案して委嘱時に決定する。他のNEDO事業では、月1回の報告書の提出をもって1回としている例もある。
2	伴走支援の主体はカタライザーのみか、調査事業者が伴走に入ってよいか。	本調査は、カタライザーを派遣し伴走支援を行うものだが、調査事業として事業者が行う伴走支援などがある場合は、その内容を提案に含めていただきたい。
3	仕様書に記載のヒアリングは何社を想定しているか。	仕様書では定めていないが、(1)では20社程度へのヒアリングを想定している。(2)以降の伴走支援の実施件数は、その内数からNEDOと協議の上で決定する。
4	ヒアリング先の抽出や特定は提案対象か。NEDOから指定に基づき決定するものか。	ヒアリング先の抽出や特定は提案対象であり、提案書の内容を踏まえ、NEDOと協議の上決定する。
5	ヒアリングを実施するSUと伴走支援を行うSUは別か。	※質問3の通り
6	本調査のカタライザーは、NEDOウェブサイトで公開中のカタライザーリストから選定するのか。新たな候補者を提案するのか。 800050186.pdf	本調査では、カタライザーを新たに委嘱することを想定しており、委嘱候補者も提案対象である。なお、提案会社に所属する社員自らがカタライザーとなることも可能である。
7	対象スタートアップと提案者の利害関係の取り扱いについて	NEDOとして特段の制約は設けないが、提案者の社内規程等に基づき適切に対応すること。なお、カタライザーの委嘱に伴う守秘義務等を遵守する必要がある。